

発行:第五地区コミュニティ推進委員会広報部  
沼津市五月町15-1 電話 055-925-8686  
発行部数:10,000部

# 地域をつなぐ ふれあいの集い 第五地区 コミュニティだより

ステージの部  
第五地区コミュニティ推進委員



## 第35号



## ふれあいの集い2024特集



### ステージの部 素晴らしいパフォーマンス ありがとうございました



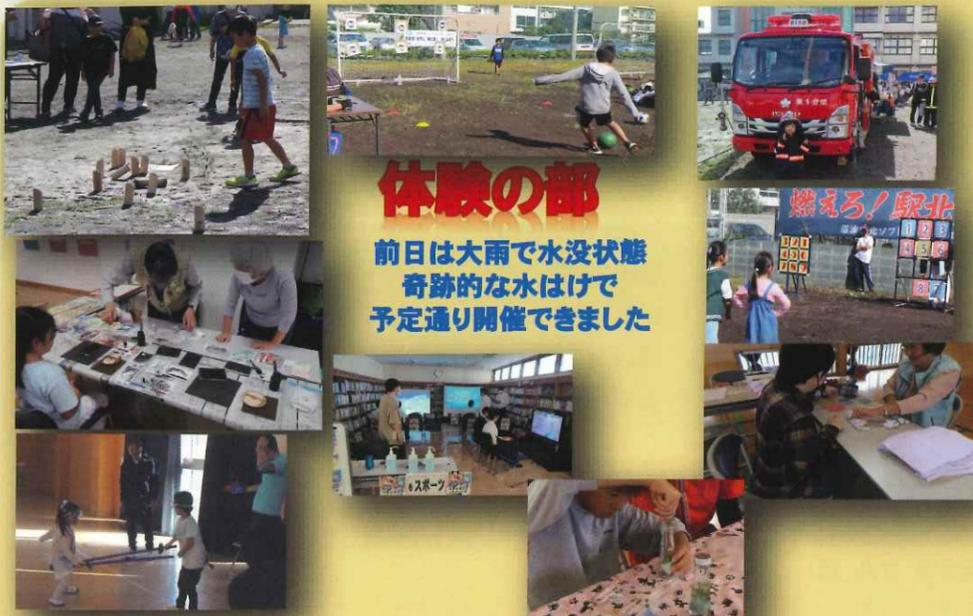
### 頼重市長にもご来場いただきました



頼重 秀一 沼津市長  
小林 昭 沼津市自治会連合会会長  
北村 正昭 第五地区コミュニティ推進委員会会長

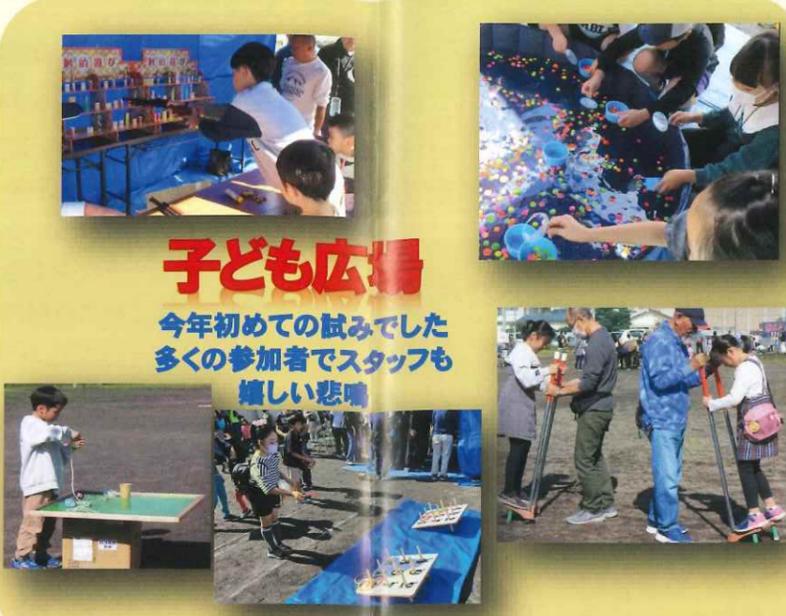
### コミュニティ会長より挨拶

最終的に、天気予報では11月3日が晴れとのことイベントを開催することに決定しましたが、11月2日午後には大雨が降り、地区センターの駐車場が約30cm冠水しました。それでも、3日は晴天となり、行事を無事に実施できました。本イベントのコンセプトは、全国的な少子化に対応し、令和5年12月22日に閣議決定された「こども大綱」に基づく「こどもまんなか社会」の実現を目指しています。地域訓にある「地域のこどもは地域で育てる」の理念に従い、「こども広場」を設けました。多様な遊びにはスパーボールすくいや射的、輪投げ、竹トンボなどがあり、また地域にある12の学校の協力のもと、吹奏楽演奏やチャアリーディング、合唱、書道や絵画の展示も行いました。体験コーナーではソフトボールやサッカー、eスポーツなどを導入し、来場者数は2,000人を超える盛況を呈しました。このイベントは、地域のこどもたちに多くの機会を提供する重要な場となりました。



### 体験の部

前日は大雨で水没状態  
奇跡的な水はけで  
予定通り開催できました



### 子ども広場

今年初めての試みでした  
多くの参加者でスタッフも  
嬉しい悲鳴



### 展示の部

昨年より1.5倍ほどの作品  
最近では立体作品も多く  
楽しい作品にあふれました

## 大盛況でした ふれあいの集い2024



### テーマブース

地域活動・コミュニティの活動紹介  
三島信用金庫の1億円体験は  
結構重かったです...



### 交流広場・売店

多くの人に来場いただき  
まさに交流の場となりました  
第五マルシェも大人気



### 第五地区コミュニティ 学校紹介



地域とともに  
この先、開校八十周年、九十周年、百周年を迎えた時にも、現状と変わらず、地域とともに、地域の一員として、この学校があり続け、子供たちの笑顔が、地域の方々の支えになれるよう努めていきたいと思っております。

地域に支えられて 開校七十五周年  
沼津聴覚特別支援学校  
校長 庄司 達夫  
本校は、昭和二十四年五月十日に「静岡県立沼津聾学校」として開設しました。今年度で七十五周年を迎えます。七十五年という歴史の中で、この学校は、本当にたくさんの方々に支えられ、見守られながらここまでやってきました。先日の九月二十九日には、本校のグラウンドで、寄宿舎と泉町の合同のお祭りが行われ、泉町の屋台に生徒がお手伝いとして参加させていただいたり、盆踊りは練習の段階から一緒に踊ったりと、楽しい時間を過ごしました。また、交流花壇として一緒に花植えを行いました。青空市の野菜販売では、たくさんお客様として来ていただいたりもしました。こうした活動一つ一つをとっても、地域の方々の温かさや子供たちを思う優しさを感じ、本当に幸せな学校だなと感じます。本校の子供たちを、「地域の宝」と大事にしてください。そのお気持ちに感謝の気持ちでいっぱい입니다。

### 第五地区コミュニティ 学校紹介



地域とともに  
今年、地域の災害時避難所として近隣の皆様とAED講習会やトイレ設置訓練を実施しました。これからも地域の沼視として皆様に身近な学校でありたいと思っております。

授業では拡大読書器やタブレット端末等の機器を使って学習を進めています。見え方の改善や他の手段で「分かる」ようになります。興味関心が広がり意欲も高まります。また、北部保育所、第五小、第五中、沼津聴覚との交流の歴史も長く、たくさんの方々と運動会や校外学習、福祉教育と一緒に取り組んでいます。今年、地域の災害時避難所として近隣の皆様とAED講習会やトイレ設置訓練を実施しました。これからも地域の沼視として皆様に身近な学校でありたいと思っております。

静岡県立沼津視覚特別支援学校  
校長 田淵 尚子

### 交通安全部

挨拶推進運動標語 応募総数139点 優秀賞8点

- 「挨拶で広がる友達地域の輪」 泉町 間宮 優有さん
- 「こんにちは元気なあいさつ地域のちから」 五月町 杉山 忍さん
- 「笑顔で言葉のキャッチボールが明るい町に！」 双葉町北 福本 頼夫さん
- 「元気なあいさつひろがるえがお」 第五小学校 秋山 翔汰さん
- 「あいさつは大きな声でもちいい」 開北小学校 岩田 美希乃さん
- 「挨拶は笑顔になれる魔法の言葉」 聴覚特別支援学校 村瀬 丞さん
- 「あいさつで今日のエンジン動きだす」 視覚特別支援学校 浅沼 仁さん
- 「こころがけよう街がきらめく素敵なあいさつ」 第五中学校 山崎 青葉さん



挨拶推進運動に先立ち、139点の標語が寄せられました。いずれも心揺さぶられる作品でしたが、今回この8点が優秀作品として選ばれ、のぼり端を作成しました。挨拶はすべての行動の起点になります。これらの標語の旗の下、第五校区のコミュニケーション向上を推進していきます。(交通安全部 辻丸 記)

### 社協・コミ共催行事

7/20 音楽鑑賞の集い



尺八の妙なる調べ  
青木 敬堂先生  
猛暑の中、尺八の音色にひとときの清涼感を求めて76名がつどいました



9/7 健康づくりの集い(秋季) 46名参加



メタボ予防講話  
沼津保健センター  
加藤 茜 保健師  
高齢者も働き盛りの人たちも健康が基本

タオルを使った機能改善体操  
健康運動指導士  
伊藤美佐緒先生

骨盤底筋を鍛えることの大切さを学び、タオルを使った機能改善体操を体験



### 男女共同参画推進委員会



デモンストレーション  
左 加藤学園暁秀高校3年 岡田彩良さん  
右 第五中学校2年 長良 樹さん  
後ろ 解説 長良将司氏



今年7月、功績が認められ県スポーツ協会体育章の功労章を受章した齋藤雅子氏

オリンピックシドニー大会 出場  
オリンピックアテネ大会 出場  
第15回アジア競技大会団体銅メダル  
現沼津市役所勤務 長良将司氏



フェンシング講演会を開催して  
男女共同参画推進委員  
11月17日、「フェンシングのまちを知ろう」との講演会が、盛況のうちに開催されました。  
齋藤雅子氏は、70年前に女性のフェンシング部を創ろうとご苦労し、当時の西高での経験や国体出場等の素晴らしい活動についてお話をされました。  
長良将司氏は、フェンシングが沼津市でオリンピック合宿をした事や、市の具体的な取り組みについて話をされ、迫力あるデモンストレーションでは、分かりやすい説明で点数の入り方も理解が進み、とても気づきの多い時間となりました。



#### 編集委員

- 広報部 久保 貴英 藤井 敏和 辻丸 治 小嶋 康幸
- 鈴木 勝博 土屋 菊雄 荒川 靖彦 水野 明美

今年度は3回の発行を予定しています。皆様からの寄稿歓迎いたします。